

## 「親子で学ぶ 防災・減災ピクニック」を実施

～家族防災力を高め、南海トラフ巨大地震などの自然災害に備える～

日本損害保険協会中部支部(委員長：中西 貴志・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員)では、名古屋大学の 福和 伸夫 名誉教授をナビゲーターに迎え、「親子で学ぶ 防災・減災ピクニック」を6月3日(土)に実施しました。当日は、応募者143名から抽選で選ばれた21組44名の親子に参加いただき、防災・減災を楽しく学びました。

今回は、例年のプログラムを大きく変更し、地球科学と災害の関係を知る「名古屋大学博物館ツアー」の後、地層や建物などを探検する「東山キャンパスツアー」を実施し、最後に減災館で「福和教授による揺れ方の実験」を実施しました。

「名古屋大学博物館ツアー」では名古屋大学の学生が木の年輪・石・木曾馬について解説し、参加者は展示物を見たり触れたり質問をしたりして、地球科学や災害への理解を深めました。

「東山キャンパスツアー」では、ハザードマップを持って高低差約40mの東山キャンパスの地形を感じながら歩き、地層がむき出しになっている八事層を見て触ってチャートを発見したり、減災館の免震装置を見学したりして、地層や建物の構造を学びながら探検しました。

「福和教授による揺れ方の実験」では、プリンを使って地盤や地形による揺れの違いを見たり、ココアと小麦粉を使って断層のでき方を学んだり、実験キットを使って建物の構造による揺れの違いを学びました。

地震発生時の建物の揺れを実感した参加者からは、「全然止まらない！めちゃくちゃ揺れる！」といった驚きの声も上がりました。

当支部では、南海トラフ巨大地震に備えて、家族や地域の防災力を高めるため、今後もこうした取組みを進めます。



名古屋大学博物館ツアー1  
(木の年輪の解説)



名古屋大学博物館ツアー2  
(石の解説、顕微鏡で観察)



名古屋大学博物館ツアー3  
(木曾馬の解説)



東山キャンパスツアー1  
(八事層で発見した石について質問する参加者)



東山キャンパスツアー2  
(東山61号窯出土の解説)



東山キャンパスツアー3  
(減災館の免震装置を見学)



福和教授による実験1 (断層のでき方)



福和教授による実験2 (講義)